

登録コード	T2B07300	開講年度	2026			
授業科目	通信システム実験Ⅱ (20T以降)				担当教員	田久 修
英文授業名	Communication Systems Lab 2				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限	対象学生
講義室	工W2-301実験室		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ					
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。			⇔	通信技術の応用ができるようになる。	
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			⇔	通信技術を基礎として、様々な対象との関連性を理解できるようになる。	
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			⇔	実習を通して課題解決ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	通信技術，符号化技術，情報通信理論のそれぞれに関する実験を各5週程度実施する．各実験テーマでは，少人数のグループ単位で課題に取り組み，その成果を発表する．これまでに学んだ情報通信分野の知識を応用した問題解決能力，グループワークを通した協調性，成果発表を通したプレゼンテーション能力を獲得する．					
(5)授業計画	以下のテーマに関する実験を少人数のグループ単位で実施する． 1．通信技術 2．情報通信理論 3．符号化技術 各テーマは5週からなり，以下のような流れで実施される． 1 週目：実験課題の説明，グループ分け，グループワーク 2， 3 週目：グループワーク 4 週目：発表準備 5 週目：成果発表（グループ単位），結果発表，報告書作成（個別） 最終回の15分間で授業アンケートを実施する。					
(6)成績評価の方法	各テーマにおけるグループワークの成果発表および各個人の作成する報告書により評価する					
(7)成績評価の基準	グループワークの成果発表から課題解決能力，グループワークにおける協調性，プレゼンテーション能力を測る．また，個人の作成する報告書により，各実験テーマに対する理解度と分析能力を測る． 【注意事項】 本授業は三課題ありそれぞれの課題で評価をして総合成績を評価する。 いずれかの課題でレポート未提出、欠席多数等の理由で0点となった場合には、不可となる。					
(8)事前事後学習の内容	各実験テーマの資料を参照					
(9)履修上の注意	持ち物や実施場所については，各実験テーマの資料やガイダンス資料を参照					
(10)質問,相談への対応	各実験テーマの担当教員や取りまとめ教員に個別に連絡すること					
(11)その他	企業へのインターンシップに参加して、本授業を欠席する場合にはとりまともに★事前★に連絡すること（事後の場合は無断欠席となる）。 インターンシップへの参加による欠席に対して補講や補修は行わない（自習により補うこと）。 評価への配慮もしないため、欠席が続く場合には、評価が大きく下がるので注意すること。					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					